

おお大勝利

平成 24 年度山東サッカー部報第 22 号 (11 月 28 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

一年生 爽やかで粘り強い戦い 地区3位

11月24日(土)、25日(日)村山地区一年生大会が実施されました。山東の初戦は今年同じくY1を降格した上山明新館。明新館は現3年生の人数が多かったのですが、それは例外で今年は「例年並み」(S原監督)の10名。しかも1名負傷しており、ピッチに立ったのは9名。正直、イヤ～な予感がしました。こっちは11名で臨むゆえ、勝って当たり前、圧倒して当たり前。あちらはやられて当たり前。少し攻めるだけでも、してやったり。この気分の軽重の差を感じ、試合前、余計にプレッシャーを感じました¹。

さて試合開始。明新館は人数不足ゆえに、前からプレッシャーをかけるのではなく、ボールの取る位置(奪い処)を低く(自陣ゴールに近い位置に)設定しブロックを敷く。これは当然の策。3年前の山東も、ベンチからよく「奪いに行くのではなく相手を迎えるのだ」と指示したものです²。ただ、ブロックを作ったとしても、そもそも枚数不足ゆえに、人数の多い方が落ちついてサイドを変えながらプレスの穴を掻い潜れば、何の問題もないはずなのですが、それを落ちていくほど山東の力量が高くない。立ち上がり、攻めあぐむ。しかし、セットプレー後のゴール前のゴチャゴチャから先制し、精神的に楽になる。「これで冷静に数的優位を形にしてくれるか」とは思いましたが……。先制すると逆に落ちついたのは明新館。**明新館はボランチの選手がボールキープに長け、一人で二人分の働き**。その選手のタメからボールを支配。二名多い山東がボールの後ろを追いかける屈辱の展開！そして、その悪い時間に、①CDF1のフィードミス、

¹ 思い出されるのは、3年前の山東のタダの代。当時一年生部員が9名しかいなかったのに加え、タナイ、ヤスの2名が負傷中で、7名で臨んだのでした。システムは前人未到の(1-)-3-2-1。その「1」のワントップのタダが、当時流行していたインフルエンザ罹患を隠して出場し、ギリギリ7名(サッカーは7名から試合成立)で試合に臨み、何と一回戦の相手の山南から先制点を奪ったのでした！その後の展開は、山形東サッカーOB会HPの2009年のところを検索してもらおうとして、その年も、7名だけにどんな内容・結果でも清々しい気持ちになったのを感じています。

² この部報を作成していて気付いたのですが、そのタダの代が翌年、新人チームにて臨んだ選手権の準決勝羽黒戦で、2-2の同点からPK合戦まで行く「超善戦」を演じたのですが、その時の作戦も引いてブロックを作り相手を待ち受けるやり方。当時はぶっつけ本番の作戦を意識していたのですが、よくよく考えれば、その戦い方は前年の一年生大会で経験済みだったんですね。

②カウンターの縦パスを相手選手と競った CDF2 が勝ち切れず、③前傾姿勢が基本である GK がボテボテのボールに後傾になりボールを取り切れず足に当てて跳ね返してしまい明新館の選手に押し込まれ、同点となる。いや～、悪い予感がして（心の準備をしていて）良かったです。でなければ発狂するところでした。その後はさすがに山東が 3 点追加し、合計 4 - 1 で勝利。勝つには勝ったものの、**9名の明新館の選手の勇敢な頑張りが目立つ試合**でした。ちなみに、その試合にてレスラーことシュウタロウが、現在浪人中の OB ゴー（この選手もサッカー選手というよりレスラーでした）の正統な後継者であることを証明する、レッドカードをもらい、11 人対 9 人の戦いを 10 人対 9 人にして、試合を面白くしました。サッカー選手たるもの、ファウルをせずにボールを奪ってこそなんぼ。要反省のプレーぶりでした。

次戦の相手は、山本学園との死闘を PK 合戦にて破った山南 B。何と FW の位置には注 1 で触れているタダの弟がいる。兄ほど洗練されてはいないものの、弟は野性味あふれる怖いプレーヤー（成長すればもっとももっと怖くなるはず）という印象。ヨータにタダのマンマークを命じ、試合スタート。すると開始 10 秒足らずで危うく失点というシーンを迎えるが、事なきを得る。それ以後は守備が安定し、山東優勢の時間が多い。雨で重くなったピッチコンディションを考慮し、シンプルに縦にボールを運ぶ山東の作戦が功を奏している。コータが無人のゴールに蹴り込んで先制、前半終了間際に失点覚悟のシーンを迎えるものの、またしても何故か事なきを得て、前半 1 - 0。後半は、ルーズボールをゴール前にロブで上げたドイのアシストを左からゴール前に走り込んだリンちゃんが巧く合わせ、突き放す。守備では後半チャンスらしいチャンスを作らせず、終始安定。**ドイ、アカガワ、ヨータ、エイジという 4 人の DF の頑張り、そして、リーダーのチクテツ率いる 2 年生の熱い応援が素晴らしかった！！** 結局 2 - 0 で勝利。

翌日、準決勝の相手は一年生大会 3 連覇を狙うモンテユース。昨年も同じく準決勝でモンテユースに当たり、2 - 8 で粉砕されている。山東は、初戦 9 名の相手でしたし、2 戦目の相手は B チーム³であり、相手に恵まれていましたが、この戦いから本番が始まるといったところか。顧問今野は 3 年生の土曜講習があり、それを終えてから会場の山形中央 G に向かい、ハーフタイムに到着する。「どうせ 0 - 3 くらいになっているだろう⁴」と一年生の力をみくびっておりましたが、到着してスコアを聞くと 0 - 0 とのこと。「何？ 0 - 0？ まずい・・・俺が来たことで流れが変わってしまう・・・」。自分**が厄病神になる予感がピンピンする**。清野 OB 会長と齋藤 GK コーチに任せた前半と同様、ベンチ入りしない方が良いと察し、保護者のいる応援席側に回る。すると、後半の入りの段階で、モンテの猛攻にクリアミスを重ねてしまい、あえなく失点。やはり流れが変わりました・・・。しかし、その後は、山東の MF、DF、GK 一体となった粘り強い守備が光る。特に、**①後ろにバックステップを踏みつつも緩い横パスをインター**

³ 2 チーム出場させるチームは実力差で A、B 分けすることになっています。

⁴ ちなみに去年は前半で 1 - 4。

セフトする準備を怠らない「攻めの守備」の姿勢、②奪ったボールは簡単にさらさず（相手に近いところに置かず）、しっかり体を入れてボールと相手とを遠ざけるスクリーンプレー、③空中戦や球際では体を張り後手を踏まない勇敢さ、というように山東の良さが目立つ。もちろん、モンテの選手の方がボールワークがうまく、サポートにしっかり入って複数人でボールポゼッションすることでは長けておりますが、山東も下手は下手なりの**弱者にできることをしっかりやって**、モンテを手こずらせている。それでいて、ジュンヤがキープしチョマヌキとクリロンが前に運び、カットとコータをうまく走らせ、少ないながらゴール前までボールを運ぶ。「今年の一年生は頑張るな～、二年生は見習わなきゃな～」とうれしいボヤキ。結局、ゴール前の DF・GK の粘り強い守備が功を奏し、0-1 のままタイムアップ。**敗戦にも保護者の方々の温かい拍手が沸き起こる、そんな素晴らしい試合でした。**

試合が終わり、本部付近に戻ると、村山地区の顧問、コーチの方々から、「なして来たの～（なぜ後半から来てしまったのか）？ 前半はもっと攻め込むこともできて（もっと内容が良く）、『今野が来ないことで良い流れになってる。来なければ後半も面白いんじゃないか』と話し合ってたんだけど、ハーフタイムに[今野の]赤い車が見えて『ヤバイ』と思った」と告げられるも、一年生への賛辞と受け取り、気分は悪くない。今野が後半も来なければ、もしかしたら、粘りに粘って PK 合戦、なんていう結果にもなったのかも、**やはり敗因は今野**という思いはありますが、①**右左ともにロングキックのパワー・技術が欠けている点**、②個々にドリブル突破する（または最低でも奪われない）スキルが欠けている点、③グループで攻める（ポゼッションする）判断力が欠けている点などは、モンテ戦の改善点として反省しなければならないでしょう。

その日（25日）、一年生保護者の皆さまが選手も参加する直会^{なおらい}（山形弁でいうところの打ち上げ）を開いて下さいました。顧問今野も参加させてもらい、「後半現れてしまったこと」を詫びました。その会の終盤、選手一人ひとりが御参会の保護者とともに「ステージ」に立ち、保護者紹介というか親への感謝を述べる企画があり、心温まりました。**親への感謝を率直に（恥ずかしがらずに）述べることのできる選手が多く、自分の高校生の時との違いを感じました。**顧問が良いからでしょうかね！ というのはもちろん冗談ですが、保護者の方が一番胸熱くされたんじゃないでしょうか。その後の二次会でも、保護者の方々がとても気分良く呑んでらっしゃるように感じました（MVP はリン父か）。

これにて、今季の公式戦はすべて終了。12月を迎え、雪の降る冬を迎えます。今回頑張った一年生だけでなく、もちろん最後の冬を迎える二年生を含め、どれだけ冬の間、技術・体力・判断力の向上ができるか、が来年の分かれ目になるでしょう。**環境を言い訳にせず、厳しい環境を逆に強みにするチーム**が、来春に笑

うのではないのでしょうか。山東生諸君の頑張りに期待します。

納会の日程も決定

12月11日（火）、後期中間考査の最終日、OB会主催の納会の開催が決定しました。場所は**ここ30年弱不動のなかじま商店**です。OB会ですき焼きを振る舞って下さる太っ腹な企画です。今年度の5名の優秀選手も発表されますし、マネ作成の「今年の記録」も当然選評つきで配布されます。時間は18:00 または 18:30 から（念のため現役は18:00には集合しましょう）。